

大学院看護学研究科 博士前期課程		授業 科目	老年看護学特講 Advanced Gerontological Nursing			担当 教員	沼本 教子 (専 任)	
開講年次	1年次前期	単位数	2単位	科目 分類	専門科目 実践看護学	授業形態	講義とゼミ	
選択必修	選 択	時間数	30時間			使用教室		
授業の目的及びねらい		<p>高齢者の加齢過程で生じる心身の健康問題と健康生活への影響、それらに対する適応と対処について適切な判断と評価をするために必要な基本的な概念、諸理論、評価方法とその技術について学ぶ。</p>						
授業のキーワード		<p>老化、加齢過程、老年期の発達課題、健康生活評価、QOL、家族介護の機能評価、</p>						
講義回数	授 業 内 容 及 び 計 画							
1～6回	<p>I. 老年期の発達とエイジングに関する理論を学び、人が老いることについての理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス、老年期の心理社会的発達と老化過程（講義） 『老年期』の抄読と討議 ・老いることを歴史的観点から考える；『老いと近代』の概説 『老いと近代』の抄読と討議① 『老いと近代』の抄読と討議② 『〈古い衰えゆくこと〉の社会学』の抄読と討議 							
7～12回	<p>II. 老人の健康生活評価の理論、方法について学び、高齢者の健康生活を維持・促進するための援助について検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加齢・老化によって生じる生理機能、精神的機能の評価と看護アセスメントの方法 (感覚・運動機能、認知機能、メンタルヘルス、ADL,IADL、セルフケアアセスメントなどの評価) ・加齢・老化によって生じる心理・社会的変化に関する評価 (発達の評価、主観的幸福感、生活満足度など) 							
13～15回	<p>III. 老人とその家族の健康生活を評価する方法を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者と家族、家族介護と看護支援 ・家族の介護力評価、家族看護アセスメント ・健康障害をもつ高齢者と家族の事例の分析 ・在宅移行の段階にある高齢者と家族の事例分析 <p>まとめ：老いを生きる高齢者とその家族支援のあり方</p>							
テキスト	<p>講義中に提示する</p>							
参考文献	<p>講義中に提示する</p>							
成績評価の方法	<p>文献抄読の内容と発表およびディスカッションへの貢献度(100%)</p>							
教員から学生へのメッセージ	<p>高齢者の健康問題に適切に対処できるための基本的能力として、質の高い臨床判断能力が必要です。健康生活評価の視点を学びましょう。特講は専門看護師への導入科目であると同時に、研究課題を考えていくためにも重要です。</p>							